

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

職業実践専門課程 産業デザイン学科 グラフィックデザイン専攻

| 授業科目名 | 区分 | | 配当年次 学期 | 単位数 (授業時数) |
|---------------|----|----|------------|---------------|
| | 必修 | 選択 | | |
| 基礎造形 I | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| コンセプトメイキング | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| デッサン | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| ビジュアル表現 | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| グラフィック基礎 | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| 基礎デザイン I | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| 印刷・レイアウト基礎 | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| DTP演習 I | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| Webデザイン I | ○ | | 1年・前期 | 3 (45) |
| 基礎造形 II | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| グラフィック演習 | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| 基礎デザイン II | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| 印刷・レイアウト演習 | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| DTP演習 II | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| Webデザイン II | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| 広告デザイン演習 I | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| 撮影基礎 | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| パッケージデザイン I | ○ | | 1年・後期 | 2 (30) |
| グラフィック表現テクニック | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| インフォメーションデザイン | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| コミュニケーションデザイン | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| DTP演習 III | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| DTP演習 IV | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| Webデザイン III | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| 広告デザイン演習 II | ○ | | 2年・前期 | 3 (45) |
| 専門技術演習 I | | | | |
| ブランディングデザイン | | ○ | 2年・前期 | 3 (45) |
| アートディレクション | | | | |
| 撮影テクニック | | | | |
| 専門技術演習 II | | | | |
| 広告プランニング | | ○ | 2年・前期 | 3 (45) |
| パッケージデザイン II | | | | |
| シルクスクリーン | | | | |
| 英語 | ○ | | 1年・前期 | 1 (15) |
| 合 計 | | | | 73 (1095) |

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：新明 史子 (非常勤講師)
実務経験：オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名：基礎造形Ⅰ

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：前半は検定試験公式テキストを使用し色彩理論の基礎を学ぶ。
後半は基礎的な平面構成課題を通して構成力・イメージの抽象表現力・実用的な色彩感覚等を養う。
実用的な色彩感覚を養うことを目指した課題に取り組む。

■到達目標：1: 色彩士検定取得に向けて、演習を通して色彩理論の基礎を身に付ける。
2: 色彩及び構成の基礎を学び、用途やデザインに適した実用的な配色ができる。
3: 積極的に課題に取り組む姿勢を身につけ、より完成度の高い作品を目指す向上心を育成する。

■授業計画：

- 第1回 色彩の基礎①「色の成り立ち/D21:E35混色」
- 第2回 色彩の基礎②「色の三属性・色相環」(1)
- 第3回 色彩の基礎②「色の三属性・色相環」(2)
- 第4回 色彩の基礎③「PCCストーン」(1)
- 第5回 色彩の基礎③「PCCストーン」(2)
- 第6回 色彩の基礎④「明度・彩度とPCCストーン」
- 第7回 色彩の基礎⑤「対比効果」
- 第8回 色彩の基礎⑥「視認性/色の連想・イメージ」
- 第9回 配色の研究(1)
- 第10回 配色の研究(2)
- 第11回 色彩と構成「パターンデザイン」(1)
- 第12回 色彩と構成「パターンデザイン」(2)
- 第13回 色彩と構成「パターンデザイン」(3)
- 第14回 色彩と構成「パターンデザイン」(4)
- 第15回 色彩士検定対策

■教科書：カラーマスターBASIC 配色カード158b

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コンセプトメイキング**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：表現する技術を取得する前に身に付けておきべきデザインの本質的な価値や機能を学ぶ。クリエイティブ性の幅を広げるための多角的な視点を得る。

■到達目標：1: デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、デザインの意義や価値を見出すことが出来る視点をマインドを持てるようになる。
2: デザインとの関わり方を自己探索する。

■授業計画：

- 第1回 デザインとは何かを考える
- 第2回 デザインを発見する
- 第3回 GOOD DESIGN & BAD DESIGN①
- 第4回 GOOD DESIGN & BAD DESIGN②
- 第5回 デザイン業界 広告業界の話
- 第6回 デザインの言語化①
- 第7回 デザインの言語化②
- 第8回 デザインを知る①
- 第9回 デザインを知る②
- 第10回 デザインを作る①
- 第11回 デザインを作る②
- 第12回 デザインを作る③
- 第13回 コンセプトメイキング①
- 第14回 コンセプトメイキング②
- 第15回 コンセプトメイキング③

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 小田 啓介 (非常勤講師)
実務経験： フリーのイラストレーター。グラフィックデザイナー、webデザイナーとしても活動。
現・北海道イラストレーターズクラブアルファ会長・北海道版画協会会員。

科目名： **デッサン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 最も重要な基本的技術であるデッサン力を学ぶ。繰り返しデッサンを描くことで必要なさまざまな技術、特にグラフィックデザイナーに必要な「観察力」を養う。決められた時間でモチーフ、モデルを観察して素描するクロッキーを通じて、物事を観察し、理解し、言語化できることを目指す。

■到達目標： 平面表現の基本である、輪郭補助線と面の関係、陰影、質感、量感、遠近法などを理解して、人に意図が伝わるデッサン表現ができる。またデッサン力の重要性を認識し、その能力を自分自身の力で今後も伸ばせていける、基礎力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 グラフィックにおけるデッサンの重要性、また基本的理論と技法について
- 第2回 人物クロッキー①
- 第3回 静物デッサン①
- 第4回 静物デッサン②
- 第5回 人物クロッキー②
- 第6回 静物デッサン③
- 第7回 静物デッサン④
- 第8回 静物デッサン⑤
- 第9回 静物デッサン⑤
- 第10回 人物クロッキー③
- 第11回 静物デッサン⑥
- 第12回 静物デッサン⑦
- 第13回 静物デッサン⑧
- 第14回 静物デッサン⑨
- 第15回 人物クロッキー④

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：浅野 ルリ子 (非常勤講師)
実務経験：フリーランスイラストレーターとして、パンフレット・ポスター・装丁等広告物のイラストレーション制作を手掛ける。

科目名：ビジュアル表現

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：各種画材(水性色鉛筆、パステル、ガッシュ、マーカー)の基礎的な知識と使い方を学び、その中からそれぞれの画材の持つ印象を理解し、イメージに合わせた画材選びを工夫する。デジタルとは異なる表現方法を研究し、様々な課題制作に応用できる自由な発想力を身に付ける。

■到達目標：1: 画材の基本的な使い方とそれぞれの画材が与える印象を理解する。
2: 手作業の持つ面白さや表現の強さを感じ取り、デジタルとは違う魅力を理解する。
3: 道具の扱い方や後始末など、丁寧な作業が習慣的にできる。

■授業計画：

- 第1回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
- 第2回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
- 第3回 課題②(パステルによる表現)
- 第4回 課題②(パステルによる表現)
- 第5回 課題②(パステルによる表現)
- 第6回 アクリル絵の具 特別講義・ワークショップ
- 第7回 課題③(アクリル絵の具による表現と制作)
- 第8回 課題③(アクリル絵の具による表現と制作)
- 第9回 課題④(マーカーを用いたキャラクターデザイン)
- 第10回 課題④(マーカーを用いたキャラクターデザイン)
- 第11回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第12回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第13回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第14回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第15回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験：広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名： **グラフィック基礎**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：
- 1: デザイン道具の正しい使い方を知る。
 - 2: グラフィックデザインの構成要素を使つての演習により「基礎知識」と「表現方法」を身につける。
 - 3: アートプログラムを用いた造形表現を楽しみ、思考の柔軟性を高める。
 - 4: 文字情報の扱い方のスキル定着を図る。
- 到達目標：
- 1: 情報やメッセージを伝える方法を3点以上発想することができ、アイデアを可視化することができる。
 - 2: デザインを表現、定着させるための基礎的手作業を行うことができる。

■授業計画：

- 第1回 コンセプトってなに？(グループワーク)
- 第2回 デザイン道具を使つてみる
- 第3回 デザインの基礎知識にふれる「独自のアイデアやコンセプトを考える」
- 第4回 「オリジナルスニーカー 制作」(ビジュアル化・実作業)
- 第5回 「オリジナルスニーカー 制作」(仕上げ作業・プレゼン及び鑑賞会)
- 第6回 AIをどう使う？(グループワーク)
- 第7回 基礎的表現力と技術力をつける〈ビジュアル表現への基礎トレーニング〉
- 第8回 独自のアイデアやコンセプトを考える①
- 第9回 独自のアイデアやコンセプトを考える②
- 第10回 オリジナルカフェブランドのロゴを使ったスリーブ制作①
- 第11回 オリジナルカフェブランドのロゴを使ったスリーブ制作②
- 第12回 オリジナルカフェブランドのロゴを使ったスリーブ制作③
- 第13回 オリジナルカフェブランドのロゴを使ったスリーブ制作④
- 第14回 オリジナルカフェブランドのロゴを使ったスリーブ制作⑤
- 第15回 オリジナルカフェブランドのロゴを使ったスリーブ制作⑥(提出・プレゼン)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：堀 じゅん子 (非常勤講師)
実務経験：グラフィックデザイナー・イラストレーターとして広告代理店に勤務後独立し、
デザイン制作会社経営

科目名：基礎デザインⅠ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：
1: 造形要素の特性を把握し、造形秩序と配色の調和について習得する。
2: 文字の歴史やレタリング・タイポグラフィの基礎知識、書体(フォント)の種類とイメージに広く学びながら、リサーチ力や応用力を身につける。
3: 制作物の目的やターゲット層を理解し、クライアントワークに挑戦する。

■到達目標：
1: 基本的な造形要素(点・線・面)と色彩による構成によって、人間の視覚心理に訴える表現ができる。
2: 印刷術の発達による書体の成立と、現在のフォントのデザインについて知る。
3: 文字をレタリングし、オリジナル書体をデザインしながら錯視・文字組についても理解する。
4: クライアントの要望を咀嚼し、リサーチ方法、目的やターゲットを設定してデザインできる。

■授業計画：

- 第1回 構成の要素①(点・線・面による構成)
- 第2回 構成の要素②(点・線・面による構成)
- 第3回 タイポグラフィ①[書体を知る]
- 第4回 タイポグラフィ②[表「象」文字]
- 第5回 タイポグラフィ③[表「象」文字]
- 第6回 タイポグラフィ④[表「象」文字]
- 第7回 タイポグラフィ⑤[表「象」文字]
- 第8回 タイポグラフィ⑥[文字による構成]
- 第9回 タイポグラフィ⑦[文字による構成]
- 第10回 タイポグラフィ⑧[文字による構成]
- 第11回 PRポスター①(コンペ課題)
- 第12回 PRポスター②(コンペ課題)
- 第13回 ラベルデザイン①
- 第14回 ラベルデザイン②
- 第15回 ラベルデザイン③

■教科書：

■参考書： 構成学のデザイントレーニング、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：會澤 浩一（非常勤講師）
実務経験：広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名：印刷・レイアウト基礎

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：単色印刷からフルカラー印刷まで、演習課題を通じて文字組とレイアウトの基礎テクニックを習得しながら、ひとつの印刷物が出来上がるまでのワークフローを理解する。

■到達目標：1:ビジュアルと文字を組み合わせながら、全体をバランス良く配置できる。
2:印刷の基礎知識を身に付けると共に、印刷物制作のワークフロー・係るスタッフの関係を理解している。
3:必要に応じてアプリケーションを選択し、アナログ作業も活かしたデザインができる。

■授業計画：

- 第1回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ（モノクロ1色印刷による制作物）
- 第2回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ（モノクロ1色印刷による制作物）
- 第3回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅰ（モノクロ1色印刷による制作物）
- 第4回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ（特色2色印刷による制作物）
- 第5回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ（特色2色印刷による制作物）
- 第6回 印刷概論 レイアウト基礎Ⅱ（特色2色印刷による制作物）
- 第7回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフデザイン制作)
- 第8回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフデザイン制作)
- 第9回 授業連携課題 広告ポスター制作(ラフデザイン制作)
- 第10回 企業連携コンペ(企業ロゴを使用したデザイン制作)
- 第11回 企業連携コンペ(企業ロゴを使用したデザイン制作)
- 第12回 企業連携課題
- 第13回 企業連携課題
- 第14回 企業連携課題
- 第15回 企業連携課題

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 佐々木 國斗 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にて、グラフィックデザイナーとして紙媒体のカタログ、WEB広告の企画・制作などを担当。

科目名： **DTP演習 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 1: アプリケーションの特性・基本的な操作方法、デジタルデータの基礎知識や管理の方法を学ぶ。
2: IllustratorとPhotoshopの特性の理解・役割の把握・連動させた操作など、反復練習でスキルの習得を目指す。

■到達目標： 1: アプリケーションの特性、基本的な操作方法を理解して使うことができる。
2: 作業手順を段取り良く組み立て、効率よく作業をすることができる。
3: Illustrator検定試験の受験者全員合格。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、DTPに必要な基礎知識、室内設備・使用時のルール等 Illustratorの基本操作を覚える①(オブジェクトの操作・変形・編集・カラーパレット)
- 第2回 Illustratorの基本操作を覚える②(ペンツール、フリーハンド系のツール、線の設定)
- 第3回 Illustratorの基本操作を覚える③(各ツールの復習、レイヤー、プリンターの知識)
- 第4回 Illustratorの基本操作を覚える④(各ツールの復習、画像配置)
- 第5回 Illustratorの操作 応用(基本操作のおさらい、目的に合わせた効率の良い操作の仕方①)
- 第6回 Illustratorの操作 応用(基本操作のおさらい、目的に合わせた効率の良い操作の仕方②)
- 第7回 Illustratorの操作 実践(コンペ課題制作)
- 第8回 Illustratorの操作 実践(コンペ課題制作)
- 第9回 Illustratorの操作 実践(コンペ課題制作)
- 第10回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作)
- 第11回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作)
- 第12回 Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作)
- 第13回 Photoshopの基本操作を覚える①(デジタルデータの仕組み、画像補正①)
- 第14回 Photoshopの基本操作を覚える②(デジタルデータの仕組み、画像補正②)
- 第15回 Photoshopの基本操作を覚える③(デジタルデータの仕組み、画像補正③)

■教科書： 『Illustratorよくばり入門』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 佐々木 裕司 (非常勤講師)
実務経験： デザイン会社でDTPのディレクション業務を担当。現在はフリーランスとしてWebデザインを中心としたグラフィックデザインに携わる。

科目名： **Webデザイン I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： インターネットとWebサイトの基本知識を学ぶとともに、Illustrator・Photoshopの「Web/パーツ制作のための使い方」およびWebサイトに適した画像パーツ制作の過程を学ぶ。また、HTMLをコーディングして構造・記述ルールの基本やCSS(スタイルシート)の役割と使い方を理解しながら、Webサイトデータを作り上げる。

■到達目標： 1: IllustratorやPhotoshopなどの画像編集ソフトを使ったWeb用画像の制作・書き出しを目指す。
2: HTML・CSSの活用方法を理解して、Webサイトのデータ構成の理解を目指す。

■授業計画：

- 第1回 インターネットとWebサイトの理解
- 第2回 文書構造
- 第3回 Webサイトの構成①HTML
- 第4回 Webサイトの構成①HTML
- 第5回 Webサイトの構成②CSS
- 第6回 Webサイトの構成③画像
- 第7回 解像度・ピクセル単位・RGBカラーコード・画像フォーマット
- 第8回 Illustratorの活用
- 第9回 画像パーツの制作①
- 第10回 画像パーツの制作②
- 第11回 Photoshopの活用
- 第12回 写真画像の編集
- 第13回 サイトデザイン・レイアウト①
- 第14回 サイトデザイン・レイアウト②
- 第15回 サイトデザイン・レイアウト③

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：新明 史子 (非常勤講師)
実務経験：オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名：基礎造形Ⅱ

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要：平面から立体へ展開しながら、紙という材料の基本的な加工方法や、その特性、紙を使った造形の可能性を学ぶ。素材や資料の研究、アイデアを形にするための積極的な実行力や企画力、的確な計画性などの重要性を理解する。

■到達目標：1: 紙の基本的な加工方法・紙の目・厚さ・種類等の特性を知り適切な紙を選べる。
2: 基本的な製本技術を覚え、オリジナルの本づくりを通して企画力・表現力を養う。
3: もの作りの本質を考え、表現の幅を広げながら丁寧な手作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 紙の造形1「ハードカバーのノートブック」
- 第2回 「パターン・ノートブックのデザイン」鑑賞会 紙の造形2「紙のモビール」(1)
- 第3回 紙の造形2「紙のモビール」(2)
- 第4回 紙の造形2「紙のモビール」(3)
- 第5回 紙の造形3「ブックデザイン」(1)
- 第6回 紙の造形3「ブックデザイン」(2)
- 第7回 紙の造形3「ブックデザイン」(3)
- 第8回 紙の造形3「ブックデザイン」(4)
- 第9回 紙の造形3「ブックデザイン」(5)
- 第10回 紙の造形3「ブックデザイン」(6)
- 第11回 紙の造形3「ブックデザイン」(7)
- 第12回 紙の造形3「ブックデザイン」(8)
- 第13回 紙の造形3「ブックデザイン」(9)
- 第14回 紙の造形3「ブックデザイン」(10)
- 第15回 紙の造形3「ブックデザイン」合評会

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験：広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバイザーデザインを担当。

科目名： **グラフィック演習**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要： 1: 実践的課題演習により前期で身に付けた基礎的表現力や技術力をさらに高める。
2: 文字情報の扱い方スキルアップ。
3: 完成までの工程を自己管理し定着できる実力をつける。

■到達目標： 情報やメッセージを伝達するための工夫を行い、ビジュアル、文字、色彩、レイアウトなどを考え、手作業とデジタルの両面で定着することができる。

■授業計画：

- 第1回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（データ整理とロゴマーク制作）
- 第2回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（データ整理とロゴマーク制作）
- 第3回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（データ整理とロゴマーク制作）
- 第4回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作）
- 第5回 実践的表現力と技術力をつけるⅠ（文字情報の整理とレイアウト・ポスター制作）
- 第6回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第7回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第8回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第9回 実践的表現力と技術力をつけるⅡ（表現内容と用紙のマッチング研究・ポスター制作）
- 第10回 プレゼンテーション、講評
- 第11回 進級制作課題
- 第12回 進級制作課題
- 第13回 進級制作課題
- 第14回 進級制作課題
- 第15回 進級制作課題

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：長谷川 かおり (専任教員)
実務経験：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名：基礎デザインⅡ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要：
1: 紙面構成や媒体に合わせたフォント選択や文字構成の操作練習。
2: グラフィックデザインにおける記号等(単化表現)の社会的な役割・必要性や制作プロセスを理解し表現力を強化。
3: 「文字」の基礎的知識・技術をふまえ、基本エレメントを意識したデザインへの展開。

■到達目標：
1: 紙面構成や媒体に合わせたフォント選択や文字構成ができるようになる。
2: 「文字」の基礎的技術や柔軟な発想力を最大限に表現し、完成度の高い作品を仕上げることができるようになる。

■授業計画：

- 第1回 フォントの扱い方／文字詰め・文字組
- 第2回 フォントの扱い方／文字詰め・文字組
- 第3回 グラフィックデザインにおける記号／単化表現
- 第4回 グラフィックデザインにおける記号／単化表現
- 第5回 グラフィックデザインにおける記号／単化表現
- 第6回 オリジナル・フォントデザイン
- 第7回 オリジナル・フォントデザイン
- 第8回 オリジナル・フォントデザイン
- 第9回 オリジナル・フォントデザイン
- 第10回 オリジナル・フォントデザイン
- 第11回 オリジナル・フォントデザイン
- 第12回 オリジナル・フォントデザイン
- 第13回 オリジナル・フォントデザイン
- 第14回 オリジナル・フォントデザイン
- 第15回 オリジナル・フォントデザイン

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：會澤 浩一（非常勤講師）
実務経験：広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名：印刷・レイアウト演習

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要：デジタル入稿による印刷物の制作演習を通じて、文字組とレイアウトの強化を図り、正しい情報の選択とリサーチや取材力を身に付ける。校正記号や入稿プロセスを学習し、適切な入稿用データを作れるようにする。広告ツール制作では、デジカメ撮影を行い、立体的な構図を意識させ効果的な広告を作れるように学習する。

■到達目標：1: 印刷物の制作プロセスを理解しデジタル入稿に必要なスキルが身に付いている。
2: チーム作業を通じて、最後まで責任をもって担当作業に臨むことができる。
3: ビジュアルや文字をバランス良くレイアウトできる。
4: クライアントやターゲットに沿った企画立案ができる。

■授業計画：

- 第1回 演習Ⅱ 印刷物の制作①(チームミーティング①)
- 第2回 演習Ⅱ 印刷物の制作②(チームミーティング②)
- 第3回 演習Ⅱ 印刷物の制作③(ラフ制作・企画とレイアウトのチェック)
- 第4回 演習Ⅱ 印刷物の制作④(情報収集・取材・撮影)
- 第5回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑤(情報収集・取材・撮影)
- 第6回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑥(情報収集・取材・撮影・データ制作)
- 第7回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑦(データ制作・デザインチェック)
- 第8回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑧(データ制作・デザインチェック)
- 第9回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑨(データ制作・デザインチェック・初校)
- 第10回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑩(初校戻し・データ修正)
- 第11回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑪(データ修正)
- 第12回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑫(データ修正・チェック・再校)
- 第13回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑬(再校戻し・最終修正)
- 第14回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑭(最終修正・校正)
- 第15回 演習Ⅱ 印刷物の制作⑮(入稿用データ完成・出力紙とデータを提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 佐々木 國斗 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にて、グラフィックデザイナーとして紙媒体のカタログ、WEB広告の企画・制作などを担当。

科目名： **DTP演習Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： 1: IllustratorやPhotoshopのアプリケーション操作、データ管理の熟知。
2: 進級制作に向けた知識と技術のスキルアップ。
3: 第三者が閲覧・操作しても分かりやすいデジタルデータの制作、データの管理ができる。

■到達目標： 1: アプリケーションの特性、基本的な操作方法を理解して使うことができる。
2: 作業手順を段取り良く組み立て、効率よく作業をすることができる。
3: Illustrator・Photoshop検定試験の受験者全員合格。

■授業計画：

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 第1回 | Photoshopの基本操作を覚える④(画像補正、練習問題) |
| 第2回 | Photoshopの基本操作を覚える⑤(画像切り抜き) |
| 第3回 | Photoshopの基本操作を覚える⑥(画像合成) |
| 第4回 | Photoshopの基本操作を覚える⑦(画像合成) |
| 第5回 | Photoshopの基本操作を覚える⑦(画像合成) |
| 第6回 | Photoshopの応用操作を覚える①(基本操作のおさらい、応用操作) |
| 第7回 | Photoshopの応用操作を覚える②(基本操作のおさらい、応用操作) |
| 第8回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題) |
| 第9回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題) |
| 第10回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題) |
| 第11回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実技問題) |
| 第12回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題) |
| 第13回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題) |
| 第14回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題) |
| 第15回 | Illustrator検定対策(検定問題を使用した課題制作、実践問題) |

■教科書： 『Illustratorよくばり入門』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：種田 育代 (非常勤講師)
実務経験：デザインプロダクションでグラフィックデザイナーとして各種広告物の制作に携わる。その後WebデザインやUI・UXデザインの領域にもフィールドを広げ、現在フリーランスとして活動。

科目名：WebデザインⅡ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要：1: デザインの基礎を学び、Photoshopを使ったバナー制作を通じて技術を習得しながら、ターゲットの理解と効果的な訴求方法を考える。
2: Figmaを活用し、Webデザインのワイヤーフレーム・レイアウト設計へと進む。

■到達目標：1: Photoshopでの画像生成、Webサイトのへの理解。魅力的なキービジュアル作成の習得。
2: Figmaを使って実践的なデザインキャンプを作る。

■授業計画：

- 第1回 インターネットとWebサイトの理解
- 第2回 Photoshopの基本操作
- 第3回 バナーデザイン作成
- 第4回 Webサイトの構成を考える
- 第5回 ワイヤーフレームの作成
- 第6回 デザインキャンプの作成
- 第7回 課題①ワイヤーフレームの作成
- 第8回 課題①デザインキャンプの作成(1)
- 第9回 課題①デザインキャンプの作成(2)
- 第10回 課題①デザインキャンプの作成(3)
- 第11回 課題①デザインキャンプの作成(4)
- 第12回 課題①デザインキャンプの作成(5)
- 第13回 課題①デザインキャンプの作成(6)
- 第14回 課題①デザインキャンプの作成(7)
- 第15回 課題①デザインキャンプ発表 & 講評会(8)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 木野村 博人 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名： **広告デザイン演習Ⅰ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 2単位

■科目概要： 感覚的なものも大事にしつつ、基本的なルールを踏まえたうえで、情報の整理やレイアウトの効果を意識して、見る人に働きかける広告物について考察する。また企業連携によるクライアントワークに取り組み、入稿用データの作り方等、実践的なスキルを高める。

■到達目標： 1: コピー・文字情報・色・書体等の細かな作業を丁寧に行うことができる。
2: パターンやルールを覚え、どのような環境でも素早く作業を進められる。
3: 入稿用データの基本的なルールを理解してDTP作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 企業連携課題：イベント告知ポスター（アイデア出しと打合せ）
- 第2回 企業連携課題：イベント告知ポスター（企業オリエンテーション）
- 第3回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第4回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第5回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザインチェック）
- 第6回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザイン最終チェック）
- 第7回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザイン最終修正、仕上げ）
- 第8回 企業連携課題：イベント告知ポスター（企業プレゼンテーション）
- 第9回 新聞広告制作①
- 第10回 新聞広告制作②
- 第11回 新聞広告制作③
- 第12回 新聞広告制作④
- 第13回 新聞広告制作⑤
- 第14回 新聞広告制作⑥
- 第15回 新聞広告制作⑦（プレゼンテーション）

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：樫本 善太 (非常勤講師)
実務経験：主な事業分野としてコマーシャル、ウエディング、プロフィール、雑誌、映像をカメラマンとして手掛ける。現在は株式会社AMVER代表取締役。

科目名： **撮影基礎**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要： 「見る・撮る・創る」のサイクルを身につける

■到達目標：
1: 基礎的なカメラの操作を学び、光の捉え方から基礎的なライティングの組み方を習得する。
2: グループワークを通じて自身の役割と責任強みを認識する。
3: 生成AIについて基礎的な理解を深める。

■授業計画：

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 カメラ操作基礎
- 第3回 光の捉え方
- 第4回 スタジオワーク・RAW現像
- 第5回 Photoshop基礎
- 第6回 レタッチ基礎
- 第7回 プリント基礎
- 第8回 AI生成基礎
- 第9回 AI演出テクニック
- 第10回 グループワーク1
- 第11回 グループワーク2
- 第12回 企画・構成
- 第13回 制作実習 I
- 第14回 制作実習 II
- 第15回 最終発表会

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 美絵 (専任教員)
実務経験：大手印刷会社の包装開発部門で、ディレクターとして勤務。商品企画およびパッケージデザインのアートディレクションに携わる。JPDA(日本パッケージデザイン協会)会員。

科目名：パッケージデザインⅠ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：2単位

■科目概要：市場に出回っているパッケージには、どのような種類(構造・包装材料・印刷方式等)と機能(情報伝達・商品保護・可搬性等)があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について理解する。またパッケージデザインを構成している要素とその役割について意識を高める。

■到達目標：1: 代表的なパッケージの種類について、身の回りにある商品から具体的な事例を探することができる。
2: パッケージデザインが果たす店頭広告としての役割、イメージ戦略的效果について理解している。
3: 商品の魅力を伝える情報を精査し、可視化するアイデアを出すことができる。

■授業計画：

- 第1回 概論1:パッケージの分類 概論2:パッケージの構成要素①
- 第2回 概論1:パッケージの分類 概論2:パッケージの構成要素②
- 第3回 課題1:競合商品の比較分析①
- 第4回 課題1:競合商品の比較分析②
- 第5回 課題1:競合商品の比較分析③
- 第6回 課題1:競合商品の比較分析④
- 第7回 課題2:らしさとデザイン① マーケットリサーチ
- 第8回 課題2:らしさとデザイン② リサーチレポート作成
- 第9回 課題2:らしさとデザイン③ 商品企画立案
- 第10回 課題2:らしさとデザイン④ デザインの構成要素の検討
- 第11回 課題2:らしさとデザイン⑤ 展開図作成方法レクチャー 包装形態・構造の検討
- 第12回 課題2:らしさとデザイン⑥ 出力紙・プリンターの組み合わせ検討 テスト出力と調整
- 第13回 課題2:らしさとデザイン⑦ 立体ダミー作成方法レクチャー
- 第14回 課題2:らしさとデザイン⑧ 立体ダミー撮影・プレゼンシート作成
- 第15回 課題2:らしさとデザイン⑨ プレゼンテーション

■教科書：

■参考書：『売れるパッケージデザイン 150の鉄則』『新版 パッケージデザインを学ぶ』

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：菊地 和広 (非常勤講師)
実務経験：大手印刷会社・広告代理店・デザインプロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。グラフィックデザイン全般に携わっている。

科目名： **グラフィック表現テクニック**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：アートディレクター・グラフィックデザイナーにとって重要視される「独創性」「着眼点」に対し、「表現」というフィルターを通すことで感性を磨くと共に、各自が秘めている可能性を見つけ出す。
- 到達目標：さまざまな「表現」に見る・触れる、かつオリジナルの「表現」を作る・見せることで、独自の感性を発見する。

■授業計画：

- 第1回 学外展示用グラフィック制作(ポスター①)
- 第2回 学外展示用グラフィック制作(ポスター②)
- 第3回 学外展示用グラフィック制作(ポスター③)
- 第4回 学外展示用グラフィック制作(ポスター④、ガリ版作品①)
- 第5回 学外展示用グラフィック制作(ガリ版作品②)
- 第6回 学外展示用グラフィック制作(ZINE①)
- 第7回 学外展示用グラフィック制作(ZINE②)
- 第8回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作①(B1ポスター)
- 第9回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作②(B1ポスター)
- 第10回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作③(B1ポスター)
- 第11回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作④(B1ポスター)
- 第12回 JAGDA国際学生ポスターアワード 応募作品制作⑤(B1ポスター)
- 第13回 課題①(2words,1image 2つの単語を用いた作品制作)
- 第14回 課題②(2words,1image 2つの単語を用いた作品制作)
- 第15回 課題③(2words,1image 2つの単語を用いた作品制作)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 幸子 (非常勤講師)
実務経験：フリーランスのアートディレクター・グラフィックデザイナー。主にアーティストやバンドのツアーグッズ等の商品企画およびアートディレクション・グラフィックデザインを担当。

科目名： **インフォメーションデザイン**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：
- 1: コミュニケーションツールとして、インフォグラフィックスを用いて自己表現する。
 - 2: クライアントが求めているものを汲み取り、それを実現するための表現方法を学ぶ。
 - 3: 複雑な情報を整理・分析し、他者にわかりやすく伝えるための表現方法を学ぶ。
 - 4: 冊子制作。編集やレイアウトの工夫で、より効果的に伝達する方法を学ぶ。
- 到達目標：
- 1: 伝えたい情報を可視化する力を養う。
 - 2: 収集した情報を整理する力と、さまざまなインフォグラフィックスの特性を理解し、コンセプトに沿ったビジュアルで表現する力を養う。
 - 3: 効果的に伝達する表現力を身につける。

■授業計画：

- | | |
|------|------------------------------------|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | 課題①インフォグラフィックスによる自己表現 |
| 第3回 | 課題①インフォグラフィックスによる自己表現 |
| 第4回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第5回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第6回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第7回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第8回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第9回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第10回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第11回 | 課題②情報の整理・分析・表現(インフォグラフィック冊子のページ制作) |
| 第12回 | 課題③情報の編集(インフォグラフィック冊子の表まわり制作) |
| 第13回 | 課題③情報の編集(インフォグラフィック冊子の表まわり制作) |
| 第14回 | 課題③情報の編集(インフォグラフィック冊子の表まわり制作) |
| 第15回 | 課題③情報の編集(インフォグラフィック冊子のプレゼンテーション) |

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コミュニケーションデザイン**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：1年目に学んだコンセプトメイキングの延長として、実技を交えたデザインと、それをを用いたコミュニケーションの手法を身につけることを目指す。デザインコンペへの参加。

■到達目標：グラフィックだけにとどまらず、デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、社会におけるデザインの意義や価値を見出すことができるような視点とマインドを持てるようになること。卒業後の職業としてデザインとどう関わっていくかを模索し、意思決定することを目指す。

■授業計画：

- 第1回 ラジオCMの企画制作①(ラジオCMコンテスト 企画)
- 第2回 ラジオCMの企画制作②(ラジオCMコンテスト 原稿制作)
- 第3回 ラジオCMの企画制作③(ラジオCMコンテスト 最終チェック・応募)
- 第4回 デザインの意味と価値①
- 第5回 デザインの意味と価値②
- 第6回 デザインの意味と価値③
- 第7回 デザインの意味と価値④
- 第8回 デザインによる課題解決①
- 第9回 デザインによる課題解決②
- 第10回 デザインによる課題解決③
- 第11回 デザインによる課題解決④
- 第12回 コンペティション①
- 第13回 コンペティション②
- 第14回 コンペティション③
- 第15回 コンペティション④

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：木野村 博人（非常勤講師）
実務経験：広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名：DTP演習Ⅲ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：制作演習を通じてInDesignの基礎操作を学びながら、マージンや文字組に配慮したレイアウト力を強化する。小冊子制作では企画力の向上も図り、現場に即した制作のワークフローを学びながら、InDesignによる入稿までを学ぶ。
- 到達目標：1: 各アプリケーションの応用技術を身に付け、作品に応じたソフト選択が出来るようにする。
2: InDesignの基本操作を覚えつつ、実践的なフィニッシュワークまで行います。ページ物の特性を理解してもらおう。
3: 冊子制作では、今まで身に付けた知識と技術の集大成としての完成度を求める。

■授業計画：

- 第1回 InDesignの基礎操作とDTPのワークフロー
- 第2回 ドキュメント設定と文字入力
- 第3回 課題:「チラシをつくろう」
- 第4回 書式設定とスタイル設定
- 第5回 画像配置と編集
- 第6回 表の制作と応用
- 第7回 課題:「8ページのパンフレットを作ろう」①
- 第8回 課題:「8ページのパンフレットを作ろう」②
- 第9回 校外学習
- 第10回 「ブックレット制作」①
- 第11回 「ブックレット制作」②
- 第12回 「ブックレット制作」③
- 第13回 「ブックレット制作」④
- 第14回 「ブックレット制作」⑤
- 第15回 「ブックレット制作」⑥

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かわり、佐々木 國斗 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
佐々木：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **DTP演習Ⅳ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 1: 一年次で習得したアプリケーションの応用、卒業制作に向けた入稿データ制作方法について学ぶ。
2: 印刷に関する知識を深め、検定試験に対応した学習を通じてスキル定着を目指す。
3: 就職活動用ポートフォリオ制作を通じて構成力や応用力を養う。

■到達目標： 1: 印刷物となるデジタルデータについて、制作上の注意点をセルフチェックできる。
2: 制作物に応じて各種アプリケーションを組み合わせることができる。
3: 卒業制作や就職後、業務に対応出来る技術力・デザイン力・表現力が身についている。

■授業計画：

- 第1回 PC設定及び動作確認、操作・ファイル管理などの再確認
- 第2回 コンペ課題①(アイディアチェック及びデータ制作)
- 第3回 コンペ課題②(データ制作)
- 第4回 コンペ課題③(データ制作)
- 第5回 コンペ課題④(データ制作)
- 第6回 コンペ課題⑤(データ制作・データ仕上げ)
- 第7回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第8回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第9回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第10回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第11回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第12回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第13回 コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第14回 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成
- 第15回 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：種田 育代 (非常勤講師)
実務経験：デザインプロダクションでグラフィックデザイナーとして各種広告物の制作に携わる。その後WebデザインやUI・UXデザインの領域にもフィールドを広げ、現在フリーランスとして活動。

科目名：WebデザインⅢ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：1: テーマに沿ったWebサイトを学生自身でデザイン・レイアウトしてHTML・CSSを意識したサイトデータを制作
■到達目標：1: CSS(スタイルシート)を意識した効果的なWebサイト制作の手法を身につける
2: HTMLとCSSの「正しい役割」を理解して、Figmaを通してデザインキャンプの技術を身につける

■授業計画：

- 第1回 インターネットとWebサイトの理解
- 第2回 Photoshopの基本操作
- 第3回 バナー模写①
- 第4回 バナー模写②
- 第5回 バナーデザイン作成
- 第6回 Webサイトの構成を考える
- 第7回 Figmaの基本操作
- 第8回 ワイヤフレームの作成
- 第9回 Figmaでデザインを整える①
- 第10回 Figmaでデザインを整える②
- 第11回 デザインキャンプの作成
- 第12回 デザインキャンプ制作①
- 第13回 デザインキャンプ制作②
- 第14回 デザインキャンプ制作③
- 第15回 デザインキャンプ発表 & 講評会

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：會澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験：広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名： **広告デザイン演習Ⅱ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：課題制作を通じて、広告制作の現場が今必要としている人材を育成していく。広告とは何か？ということを変更してしっかりと理解し、実際の仕事におけるデザイナー・アートディレクターとして制作プロセスを学ぶ。

■到達目標：1: コピーライティング・タイポグラフィ・撮影等、総合的な広告制作のノウハウやスキルが身に付いている。
2: 1つの着地点に対して多面的なアプローチができる。

■授業計画：

- 第1回 課題①: 中綴じ印刷の面付けと製本
- 第2回 課題①: 中綴じ印刷の面付けと製本
- 第3回 課題①: 中綴じ印刷の面付けと製本
- 第4回 課題②: カントリーサイン デザインコンペ
- 第5回 課題②: カントリーサイン デザインコンペ
- 第6回 課題②: カントリーサイン デザインコンペ
- 第7回 課題②: カントリーサイン デザインコンペ
- 第8回 課題③: ショッパー デザインコンペ
- 第9回 課題③: ショッパー デザインコンペ
- 第10回 課題③: ショッパー デザインコンペ
- 第11回 課題④: コンペ応募タイポグラフィ作品
- 第12回 課題④: コンペ応募タイポグラフィ作品
- 第13回 課題④: コンペ応募タイポグラフィ作品
- 第14回 課題④: コンペ応募タイポグラフィ作品
- 第15回 課題④: コンペ応募タイポグラフィ作品(提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：引地 幸生 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店クリエイティブディレクターとして勤務後独立。企業ブランドに関わる商品開発やパッケージデザイン、コミュニケーションデザインなどを手掛ける。

科目名： **専門技術演習 I (ブランディングデザイン)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：ブランドという概念やデザインがブランドに果たす重要な役割について理解してもらうと同時に、ブランディングデザインの考え方や手法(一部生成AI活用も取り入れ)について課題を通して学習する。

■到達目標：ブランディングの手法を通して、幅広い発想力や表現力、企画力、プレゼンテーション力を養う。

■授業計画：

- 第1回 ブランディングデザインとは？
- 第2回 ブランディングデザインとは？
- 第3回 ブランディングの手法を学ぶ。
- 第4回 ブランディングの手法を学ぶ。
- 第5回 ブランディングの手法を学ぶ。
- 第6回 ブランディングの手法を学ぶ。
- 第7回 商品ブランディングデザイン
- 第8回 商品ブランディングデザイン
- 第9回 商品ブランディングデザイン
- 第10回 トータルブランディングデザイン
- 第11回 トータルブランディングデザイン
- 第12回 トータルブランディングデザイン
- 第13回 トータルブランディングデザイン
- 第14回 トータルブランディングデザイン
- 第15回 トータルブランディングデザイン

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：野村 ソウ (非常勤講師)
実務経験：制作プロダクションにてデザイナーとして勤務、飲食店にてデザイナー兼スタッフとして勤務後、独立。

科目名： **専門技術演習 I (アートディレクション)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要： 解説と研究、課題制作を要してアートディレクション業務を学び、実習課題の制作を通してアートディレクションの表層を体験し、プロジェクトを客観視しながらディレクションの重要性を経験し、学ぶ。

■到達目標： アートディレクションの基礎知識の習得し、型にはまらないアイデア・表現力の成長、そして幅広く様々な分野で活用のできるアートディレクションの技術を習得する。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、アートディレクション解説/アートディレクション研究①
- 第2回 アートディレクション研究②
- 第3回 アートディレクション実習 課題1「空想の動物園」①
- 第4回 アートディレクション実習 課題1「空想の動物園」②
- 第5回 アートディレクション実習 課題1「空想の動物園」③
- 第6回 アートディレクション実習 課題2「いつもの階段」①
- 第7回 アートディレクション実習 課題2「いつもの階段」②
- 第8回 アートディレクション実習 課題2「いつもの階段」③
- 第9回 アートディレクション実習 課題2「いつもの階段」④
- 第10回 アートディレクション実習 課題3「単品の八百屋」①
- 第11回 アートディレクション実習 課題3「単品の八百屋」②
- 第12回 アートディレクション実習 課題3「単品の八百屋」③
- 第13回 アートディレクション実習 課題3「単品の八百屋」④
- 第14回 アートディレクション実習 課題3「単品の八百屋」⑤
- 第15回 アートディレクション実習 課題3「単品の八百屋」⑥

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：樫本 善太 (非常勤講師)
実務経験：主な事業分野としてコマーシャル、ウエディング、プロフィール、雑誌、映像をカメラマンとして手掛ける。現在は株式会社AMVER代表取締役。

科目名： **専門技術演習 I (撮影テクニック)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：視点(インプット)と表現(アウトプット)を繋ぐクリエイティブ実習

■到達目標：
1: 写真表現の基礎から自分独自の視点を認識、再現する方法論を学ぶ。
2: カメラの操作方法から、ライティングの組み方の初歩を学び実践まで学ぶ。
3: 生成AIを活用しイメージの効率的な創造とツールとしての捉え方を学ぶ。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 カメラ基礎
- 第3回 構図とグラフィック要素
- 第4回 ライティング基礎(1灯)
- 第5回 質感とムードの演出
- 第6回 実践的なブツ撮りと素材制作
- 第7回 プロのレタッチ術
- 第8回 生成AI基礎
- 第9回 ハイブリッド・ビジュアル
- 第10回 企画・コンセプト
- 第11回 制作実習 I
- 第12回 制作実習 II
- 第13回 プリント・マテリアル
- 第14回 展示設営・キュレーション
- 第15回 作品講評会

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：伊豆倉 靖 (非常勤講師)
実務経験：広告制作プロダクション、広告代理店にてグラフィックデザイナー、アートディレクターとして勤務の後、独立。主に広告ほか、グラフィックデザイン全般の企画、制作に携わる。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(広告プランニング)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

■科目概要：企業との連携地域活性化イベント事業を実施。実践としてコンテンツの開発、各種プロモーション、ツール制作を行う。デザイン力を高めるだけでなく企画の全体予算、発注、納品などのスケジュール感覚を身につけながら、当日の進行、管理までを体験し、様々な役割を果たすことで互いに協力しながら企画立案から本番、撤収までをトータルで体験し学ぶ。

■到達目標：実践的な作業を通して、企画・プロモーション・デザインだけでなく、それらを含む一連の流れを学び、総合的な企画力・制作力と、実施までの進行力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション/リサーチ、分析、企画立案①
- 第2回 オリエンテーション/リサーチ、分析、企画立案②
- 第3回 コンセプトワーク、コンテンツの企画立案①
- 第4回 コンセプトワーク、コンテンツの企画立案②
- 第5回 コンセプトワーク、コンテンツの企画立案③
- 第6回 キービジュアル、タイトルロゴの制作①
- 第7回 キービジュアル、タイトルロゴの制作②
- 第8回 キービジュアル、タイトルロゴの制作③
- 第9回 プロモーションの検討、各種ツールの制作①
- 第10回 プロモーションの検討、各種ツールの制作②
- 第11回 コンテンツの詳細内容の検討、各種ツールの制作①
- 第12回 コンテンツの詳細内容の検討、各種ツールの制作②
- 第13回 コンテンツの詳細内容の検討、各種ツールの制作③
- 第14回 コンテンツの詳細内容の検討、各種ツールの制作④
- 第15回 コンテンツの詳細内容の検討、各種ツールの制作⑤

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 早坂 宣哉 (非常勤講師)
実務経験： ポスターやCM等の広告をはじめ、ロゴ・パッケージ・web・サイン・内装など、店舗や企業のブランディングを担当。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(パッケージデザインⅡ)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 45時間
単 位： 3単位

■科目概要： 具体的な顧客を想定したブランドデザインの中で、ロゴからパッケージデザイン、店頭ディスプレイへの定着を実践。デザインので“売る”を学ぶ。

■到達目標： 販売戦略やプロモーションを見据えたブランドのデザインを学び、売れるパッケージデザインに必要な基礎知識やアートディレクションの力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション(「売る」を軸としたデザイン・事例紹介)
- 第2回 課題①ロゴデザイン(座学、ロゴデザイン案作成)
- 第3回 課題①ロゴデザイン(実制作)
- 第4回 課題①ロゴデザイン(実制作)
- 第5回 課題①ロゴデザイン(プレゼンテーション)
- 第6回 課題①ロゴデザイン(ブラッシュアップ)
- 第7回 課題①ロゴデザイン(ブラッシュアップ、プレゼンテーション)
- 第8回 課題②直販パッケージデザイン(座学、オリエン)
- 第9回 課題②直販パッケージデザイン(販売戦略、デザイン案作成)
- 第10回 課題②直販パッケージデザイン(実制作)
- 第11回 課題②直販パッケージデザイン(実制作、プレゼンテーション)
- 第12回 課題②卸売パッケージデザイン(座学、デザイン案作成)
- 第13回 課題②卸売パッケージデザイン(実制作)
- 第14回 課題②卸売パッケージデザイン(実制作)
- 第15回 課題②卸売パッケージデザイン(実制作、プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：種村 美穂 (非常勤講師)
実務経験：デザイン工房を主催し、デザイナーおよび職人として主にサインデザイン・シルクスクリーン印刷等を手掛ける。北海道美術協会・北海道版画協会会員。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(シルクスクリーン)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：45時間
単 位：3単位

- 科目概要：水性インクを用いて布にパターンデザインを展開する・油性インクを用いて紙に多色刷りを展開する等、シルクスクリーンの基本技術の習得および印刷特性を踏まえた効果的表現について考察する。また多色刷り中型作品は公募展への出品を想定。
- 到達目標：
1: リピート性を活かしたオリジナリティーのあるパターンデザインと配色の工夫ができる。
2: グラデーションや版の位置合わせができ、構図や配色のバランスを考えた表現ができる。
3: 公募展出品に向け、伸びやかさとオリジナリティーのある表現を工夫できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、シルクスクリーン基礎知識、制作準備
- 第2回 課題①布にパターンを刷る(手ぬぐい他デザイン・製版準備)
- 第3回 課題①布にパターンを刷る(ラフ制作・チェック、版下フィルム制作)
- 第4回 課題①布にパターンを刷る(製版・調色)
- 第5回 課題①布にパターンを刷る(刷り・落版、プレゼンテーション、提出)
- 第6回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、ラフ制作・チェック)
- 第7回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第8回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第9回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第10回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第11回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第12回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、版下フィルム制作)
- 第13回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、製版・調色)
- 第14回 課題②紙に多色で刷る(公募展出品に向けた中型作品の制作、刷り)
- 第15回 課題2: 紙に多色で刷る(刷り、落版、プレゼンテーション、提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 宮崎 昭人 (非常勤講師)
実務経験： Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務(観光・ビジネス・科学・法務分野等)、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座。

科目名：

英語

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 15時間
単 位： 1単位

■科目概要： 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標： 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む。

■授業計画：

- 第1回 はじめに：仕事のシーンで間違った英語を使ってしまわない感覚を磨く
- 第2回 身の回りの英語：会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味
- 第3回 英会話基礎：日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ
- 第4回 品詞の理解：辞書の使い方
- 第5回 品詞別重要ポイント①：名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方
- 第6回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第7回 品詞別重要ポイント②：動詞(be動詞、一般動詞)、助動詞の使い方
- 第8回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第9回 品詞別重要ポイント④：接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方
- 第10回 翻訳：翻訳の種類(直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する)
- 第11回 翻訳：自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得
- 第12回 自己紹介
- 第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン
- 第14回 日常で使用する英語：住所表記、入国カード、日本食の英語表現
- 第15回 まとめ

■教科書： プリント配布

■参考書： 辞書があれば望ましい

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：